

# 活動報告書

作成者  
開沼 敬三

活動名 2025 年度教育研修 木もれびの森の生態(虫等の生き物) 2025 年 6 月 15 日 9 : 50 ~ 11 : 55

場所 木もれびの森 参加者 平野 本田 黒岩 川口 安達 大岩 金山 川口 北村 西畑 (敬称略) 田中 野口 松浦 三浦 目黒 (一)・(奈) 山下 開沼 計 17 名 (特別参加 : 博物館関係者菅沼)

概要 2025 年度教育研修として相模原市立博物館学芸員嶋本習介先生に講演をお願いした嶋本先生は昨年市立博物館の自然系学芸員となられ、枯死木や菌類に集まる昆虫群集に興味を持ち、分類学的アプローチによりその種多様性を調査している  
最初にイヌシデ広場に集合し、嶋本先生からの講話があった。実際に現場を見ながら話をするとということで E 地区の散策路、B 地区オルガノ側道路付近および B 地区「どんぐりの里」を見学してイヌシデ広場に戻った。歩きながら昆虫を見つけてはすぐに名前や関連する情報を話していただき、知識の多さにはびっくりした。普段は草刈りを行なっている虫を見る機会が少ないので、以外と多くの虫がいることを発見することができた。先生から「木もれびの森」は住宅地の中にある孤島のような森で他とは拒絶された場所であり、樹種・保全管理の仕方による植生状況に適応した昆虫が生息していて、そう意味では植物と昆虫類がそれぞれ関係しながら共存しているとの話があり、参考となった



講話中の嶋本先生



E 地区散策路付近



B 地区オルガノ側道路付近



会員が発見した「ナナフシ」